

(IV-105) 地域密着型のまちづくりとしてのJリーグホームタウンの現状

早稲田大学大学院 学生員 正野睦朗 早稲田大学理工学部 正員 井 祥福
早稲田大学大学院 学生員 赤松宏和 早稲田大学理工学部 正員 中川義英

1. はじめに

多くの市町村が過去のような単発的なイベントを用いるのではなく、継続的なスポーツによる地域振興に目を向け始めた。Jリーグのプロチームを地方に招致し、それを総合的なスポーツまちづくりに活かそうとするのもこの流れである。しかし、最近の動向を見ると、地域密着度の大きさによって各クラブの観客動員数に大きく影響が出ている。

Jリーグ型のまちづくりでは、市民、行政、企業の三者の協力で成り立つ「三位一体」の構造がしっかりしなければならないことは周知の通りである。ここではその三位一体構造の核となる「Jクラブ」を取り挙げ、地域への活動を追うことによって、ホームタウンの現状を探ることとする。

2. 研究の概念

1933年のアテネ憲章で住居、レクリエーション、職場、交通に関する見解を憲章化されて以来、約65年が経つ。しかし、今まで「住む、働く、憩う」という人間の基本的な生活要素がある中で、「憩う」がまちづくりの焦点になることは少なかった。

そのような状況の中で、比較的生活が安定し、人々が新しい生活要素を求める現在、「憩う」という面を焦点としたまちづくりを行う時代来到していると言える。そこで、本研究は地域密着型のまちづくりを、スポーツを通して市民が健康で快適な生活を送ることとして位置づける。

また「Jリーグ規約」には、Jクラブはホームタウンと定めた地域で、その地域社会と一体となったクラブづくりを行いながらサッカーの普及および復興に努めなければならないことが記されている。その中で各クラブは「地域に根ざしたスポーツクラブ」を目指し、

ホームタウンを中心とする地域で様々な活動を行っている。

市民、行政、企業による地域密着型のまちづくりを行うにあたり、クラブは非常に重要な位置にある。もちろん、市民、行政の果たす役割も大きい。ここでは市民、行政、企業を結びつけるクラブ側の取り組みを把握する必要があると思われる。

3. ホームタウンの現状

(1) 観客動員数に見る市民の支援

一方でJリーグが地域密着型になっていくためには、何よりも地域の市民による地に足が着いた支援が原動力となる。

ここ数年観客数が減少していたJリーグも、98年度のリーグ観客数は、ワールドカップ効果などもあり、ほとんどのクラブが多少数字を伸ばした。しかし、順調なクラブがある一方で、観客離れに苦しんでいるところは多い(表-1)。

常に満員を記録しているのは鹿島(98年度は国立競技場での開催がなかったため、観客数を落とした。)と浦和であり、ホームゲームでのチケットを獲得するのも困難な状況である。

逆に観客動員数が低迷しているところは多い。それは地元の関心の低さが原因に挙げられ、地域密着の形になっていない。

(2) 地域振興への影響

Jリーグ型のまちづくりが、必ずしも地域経済に波及効果を与えるとは限らない。図-1に示すように、知名度が上がり、地域のイメージが向上したまちであっても、試合後商店街などに足を運ぶ人は少ない。

このように地域密着が進んだとは言っても、地域振興に与える影響は少ないと言える。

表-1 98年度Jリーグクラブ別観客動員数(1試合平均)

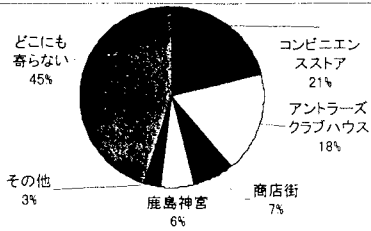
	観客動員数(人)	前年比(人)	ホームスタジアム	収容人員(人)
コンサドーレ札幌	11,953	—	札幌厚別公園競技場	20,005
鹿島アントラーズ	15,345	▼1,640	茨城県立カシマサッカースタジアム	15,870
ジェフユナイテッド市原	5,365	▼328	市原緑地運動公園臨海競技場	15,338
柏レイソル	9,932	△1,268	日立柏サッカー場	15,900
浦和レッドダイヤモンズ	22,706	△2,202	浦和市駒場スタジアム	21,500
ヴェルディ川崎	13,338	△2,405	川崎市等々力陸上競技場	25,000
横浜マリノス	19,165	△9,954	三ツ沢公園球技場	15,046
			横浜国際総合競技場	70,000
横浜フリューゲルス	15,895	△5,811	三ツ沢公園球技場	15,046
			横浜国際総合競技場	70,000
ベルマーレ平塚	10,158	△2,317	平塚市総合公園平塚競技場	18,500
清水エスパルス	12,298	△2,410	日本平スタジアム	20,399
ジュビロ磐田	12,867	△2,419	ジュビロ磐田スタジアム	19,177
名古屋グランパスエイト	13,993	▼757	名古屋瑞穂公園陸上競技場	27,000
京都パープルサンガ	8,015	△134	京都市西京極総合運動公園陸上競技場	20,412
ガンバ大阪	8,723	△280	万博記念競技場	23,000
セレッソ大阪	9,864	△711	大阪市長居陸上競技場	50,000
ヴィッセル神戸	7,686	△1,119	神戸総合運動公園ユニバー記念競技場	60,000
サンフレッチェ広島	8,339	△1,806	広島ビッグアーチ	50,000
アビスパ福岡	10,035	△1,382	博多区東平尾公園博多の森球技場	22,563

出典：参考文献1)5)より作成

キーワード：地域密着型、まちづくり、ホームタウン

連絡先：〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 51-15-11 TEL：03-5286-3398 FAX：03-5272-9975

Eメール：698F0228@mn.waseda.ac.jp



出典：「来場者意識調査」鹿島町商工会
1993. 7. 31 名古屋グランパス戦

図一 カシマスタジアム試合後の立ち寄り場所

4. クラブの活動現況

(1) クラブのホームタウンにおける取り組み

98年シーズン、Jリーグに登録されていた全18チームを対象に、地域活動を表一2にまとめる。

当然ながらどのクラブもサッカー中心の取り組みが多い。地元のサッカー少年を育てるサッカー教室、地元の小・中学校を巡回して指導を行う巡回指導、地域のサッカーチームが集まるフットサル大会などである。また、選手だけでなく指導者を育成すること考えた指導者講習会もある。

クラブによってはサッカーだけでなく、誰でもスポーツが楽しめ、地域の人たちが自由に交流できる総合的スポーツクラブづくりに励んでいる。

(2) クラブと市民のつながり

表一2を見る限り、クラブチームによって活動自体に大差はない。観客動員数に見られる市民の意識の違いは、クラブと市民の関わり合いの違いにある。

鹿島ではクラブハウスを運営している。そこではクラブオフィスやチームの練習場としての機能以外に、グッズショップや飲食のできるラウンジなども設けられ、ファンや地域の人々が交流する場所となっている。

また、浦和ではクラブ側とサポーター側が規制や取り締まりではなく、互いに同じスタンスで話し合い、信頼関係を深めてきた。

この両者に言えることは互いに何かを与えたり、与えられたりするのではない。まちのシンボルに対して自発的に市民が参加して、それがスポーツボランティアへつながっている。

表一2 ホームタウンの概要とクラブの地域活動

Jクラブ	ホームタウン	総面積(km ²)	人口(人)	活動内容
コンサドーレ札幌	北海道札幌市	1,121.12	1,776,736	サッカー講習会
鹿島アントラーズ	茨城県鹿嶋市	92.96	61,128	サッカー講習会
	茨城県波崎町	68.28	38,841	フットサル大会
	茨城県神栖町	78.96	45,003	ミニバスケットボールクリニック
	茨城県潮来町	49.56	26,429	マラソン
	千葉県市原市	368.21	278,949	市原スポーツクラブ構想
柏レイソル	千葉県柏市	72.91	319,250	バレーボール教室
浦和レッドダイヤモンズ	埼玉県浦和市	70.67	464,553	フットサル大会
ヴェルディ川崎	神奈川県川崎市	144.35	1,210,577	フットサル大会、サッカー教室、講演会
横浜マリノス	神奈川県横浜市中区	433.57	3,323,369	サッカー巡回指導、卓球教室、エアロビクス、水泳教室
横浜フリューゲルス	神奈川県横浜市中区	433.57	3,323,369	サッカー巡回指導
ベルマーレ平塚	神奈川県平塚市	67.88	254,431	サッカー巡回指導、サッカー教室、指導者講習会、フットサル大会
清水エスパルス	静岡県清水市	227.65	240,332	講演会、サッカースクール、指導者講習会
ジュビロ磐田	静岡県磐田市	64.27	86,999	指導者講習会、フットサル大会
名古屋グランパスエイト	愛知県名古屋市	326.37	2,152,472	サッカースクール、サッカー巡回指導、サッカー大会、指導養成講座
京都パープルサンガ	京都府京都市	610.21	1,463,734	サッカースクール、フットサル大会
ガンバ大阪	大阪府吹田市	36.11	340,401	サッカー教室
セレッソ大阪	大阪府大阪市	220.66	2,598,846	ホームタウン推進部、フットサル大会、サッカークリニック、オリンピック招致活動
ヴィッセル神戸	兵庫県神戸市	548.21	1,420,409	サッカークリニック、コーチングセミナー、基金活動、情報連絡会、サッカー交流会
サンフレッチェ広島	広島県広島市	741.17	1,110,713	指導者研修会、サッカースクール、出張サッカー教室、サッカー巡回指導
アビスパ福岡	福岡県福岡市	337.59	1,297,911	サッカー教室、マラソン大会

出典：参考文献1)より作成

スポーツボランティアはあらゆる年齢層の市民が登録している民間組織であり、ホームゲームの運営などに携わる。ゲートではチケットのもぎりや入場者数の把握、瓶類などの持ち込みチェックを行う。場内ではチケットチェック、座席の案内や誘導、スタンドの警備などを行う。これらは「自分たちで自分たちのチームを何とかしよう」と言い換えれば「自分たちの手でまちをよくしていこう」と、いうことの現れである。

逆に地元練習場さえない市原は市民の関心も薄く、クラブと地域の間に溝が生まれているのは否めない。

このように、クラブと市民のつながりは非常に重要である。他のクラブでもホームタウン推進部や情報連絡会などの地域とクラブとの橋渡し機関を設け、共に地域との連携を図る基盤はできつつある。

5. まとめ

地域密着型のまちづくりとして、Jリーグの各クラブが行っている活動に大差はなかった。しかし、市民の意識の違いは、クラブと市民の距離にあると言える。スポーツに親しむ機会が浸透しつつある鹿嶋や浦和は、いち早くその距離が縮まった。しかし、多くのホームタウンではまだ距離があり、これからの活動が期待される。

また、Jリーグのようなスポーツレクリエーションが地域の活性化ひいてはハードな意味でのまちづくりの拠点になっていくためには、経済面で支える企業、まちづくりのリーダーである行政の力も大きい。その活動と連携についても調査が必要であり、今後の課題とする。

参考文献

- 1) 社団法人日本プロサッカーリーグ：HOME TOWNS Jリーグクラブとホームタウンの現在・未来 1996, 体育施設出版, 1997. 3. 1.
- 2) 高橋義雄：サッカーの社会学, 日本放送出版協会, 1994. 10. 20.
- 3) 栗田房徳：Jリーグ風, 株式会社ウェッジ, 1994.
- 4) 朝日新聞, 1998. 5. 2.
- 5) 朝日新聞, 1998. 11. 8.
- 6) 磯村英一：都市問題事典, 鹿島研究所出版会 1965. 11. 1.